

授業科目名 <英訳>	中国哲学史(特殊講義) History of Chinese Philosophy (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 船山 徹					
配当 学年	3回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 前期	曜時限	火4	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	五一六世紀中国の在家者の理解した仏教(1)										
[授業の概要・目的]											
中国の仏教の歴史は、インド伝来の外来情報を漢訳を通じて受け継ぐ面と、仏教伝来以前から中国に存在した伝統的学術に基づく面の両面から成る。特に在家仏教の実態を知るにはこの両面を理解する必要がある。この授業ではいかにも中国的な仏教の特色を示し始める紀元後5世紀頃(南斉と梁)の南朝貴族仏教を理解するため、その代表的文献である南斉の蕭子良『浄住子』を取り上げ、その内容を理解することを目指す。											
[到達目標]											
在家者の仏教理解を示す資料を正確に読むための方法と必要な知識を習得し、あわせて以下の基本を身に付けることができるようにする。											
<ol style="list-style-type: none"> 1. 仏教書の基本である大蔵経に関する知識と使用上の留意点 2. 仏教漢文の訓読法の基本 3. 仏教用語の基本を身につけるために必要な基礎的資料 											
[授業計画と内容]											
第1回：中国仏教を学ぶために必要な工具書と基本となる研究書，電子テキストの概説 第2回：大蔵経の基礎知識，特徴，歴史，特に注意すべきこと 第3回：大正大蔵経を用いる時に注意すべきこと 第4回：南斉竟陵文宣王蕭子良『浄住子』の紹介。その内容と資料。仏教史上の意義 第5回：『浄住子』精読 序 第6回：『浄住子』精読 自序 第7回：『浄住子』精読 第一門 第8回：『浄住子』精読 第一門 第9回：『浄住子』精読 第二門 第10回：『浄住子』精読 第二門 第11回：『浄住子』精読 第三門 第12回：『浄住子』精読 第三門 第13回：『浄住子』精読 第四門 第14回：『浄住子』精読 第四門 第15回：『浄住子』精読10回分を振り返り，内容を整理 フィードバック方法は授業中に説明します。											
[履修要件]											
特になし											
----- 中国哲学史(特殊講義)(2)へ続く -----											

中国哲学史(特殊講義)(2)

[成績評価の方法・観点及び達成度]

平常点

自らの疑問や調べた内容を授業中に示し、出席者たち全員で意見交換してほしい。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

船山徹 『南齊・竟陵文宣王蕭子良撰『浄住子』の訳注作成を中心とする中国六朝仏教史の基礎研究』
(科学研究費成果報告書2006) (出席者全員に一部ずつ配布し、その内容を基に授業を進める)

[授業外学習(予習・復習)等]

予習：授業で精読する箇所を下読みし、自分自身の訳を準備してほしい。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーは特に設定しません。

授業に関する事柄であれば質問等はいつでも大歓迎です。授業初回に問い合わせ先メールアドレスを知らせます。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。